

## 第2学年 総合的な学習の時間 『加志々学』 年間計画

対馬市立加志々中学校

指導の視点	○地域学習をとおして、学習に関係する人とのふれあいを深め、自己表現力を育成する。 ○地域に学び、地域に生きる、地域を発信する探究学習を通して「生き方」を身につける。 ○将来に夢や目標を持ち、自分に自信を持った心情を育てる。
-------	---

評価の観点〔①課題設定の力 ②追究する力 ③思考・判断する力 ④表現・主張する力〕

テーマ	月	指導のねらい・指導内容	評価観点				時間
			①	②	③	④	
地域に学ぶ	6	<b>◆郷土を知る</b> (ねらい) ◎対馬の歴史や偉人が残した功績を学ぶこと。また、講話や調査活動などで名所旧跡などの見学を通して、自然のすばらしさや、歴史の深さなどを体感する。また伝統工芸(若田硯)を制作することで地域を学び、郷土愛の心を育む。 ①〔講話〕江戸時代に朝鮮から来た朝鮮通信使を対馬の人々がどのように迎えたか? ※対馬歴史民俗資料館より 講師; 山口華代先生 ①〔講話〕陶山訥庵・雨森芳洲・原田三郎右衛門などの人物について ※対馬歴史民俗資料館より 講師; 藤川貴仁先生 ①〔講話〕対馬の歴史・自然の良さについて、対馬が好きになった理由についての講話。1ヶ年で対馬に住まわれている、原嶋理恵子先生 ⑩〔伝統工芸製作〕講師の先生に来ていただき若田硯を作る。(9月下旬～10月中旬) ⑪ ※若田硯制作 柳田政則先生 → 1Hは余剰使用 ⑥〔現地見学〕バスを貸し切り、実際に現地に行くことで、対馬の自然や歴史を学び、地域の良さを再発見する。(下対馬方面) ※ガイド 原嶋理恵子先生					20
	12						1 1 1 1 1 1 6
地域に生きる	7	<b>◆人権学習から学ぶ</b> (ねらい) 地域に生きる一員として、自他の人格を尊重し、相互に認め合い励まし合える態度を育成する。また情操豊かで思いやりの心を育てる。 ②人権について理解を深め、地域に生きるなかでの、望ましい交友関係について考えさせる。(7月) ②人権・差別についての学習のなかで、地域に生きるために、人と人との関わりや「生き方」について学ぶ。(12月)					4
	12						2 2
	7・9		<b>◆地域交流活動 ⑥</b> (ねらい) 運動会をはじめ様々な交流活動を通して、地域の小学生や老人会などとの交流を図る。 【小中交流活動】 ○小学校との合同種目の企画を検討する。 ○様々な資料より、企画を具体化させる方法を考える。 ○地域の方々や小学生との交流活動を行う。				
6・7	<b>◆職場体験学習から学ぶ</b> (ねらい) 体験的な活動を通して、人間の生き方にふれ、自分と社会との接点に目を向けるとともに、地域に生きる自分を見つめ直し、探究していく態度を育てる。 ○総合的な学習の時間の1年間の学習の流れについて把握し、「人間の生き方」についてのどのように学習を進めていくかを考える。 ○職場体験に向けて、社会に求められているものは、何なのかを考え、仕事への心構えやマナーについて理解を深める。(講師招聘等) ○社会性を身に付け、働くことの喜びや意義・責任の大切さを感じ取る。 ○自分の将来を考える上で、正しい職業観を学び取り、今後の進路学習に対する意識を高める。 ・事前打ち合わせと準備 ・体験活動(3日間) 6H×3 ・体験のまとめ(資料・分析)					25 4 18 3	
地域を発信する	10・11	<b>◆郷土を伝える</b> (ねらい) 郷土の歴史や文化の良さを、3年生が創作した脚本をもとに、演劇として表現する活動を通して、積極的に関わろうとする姿勢や、それらを継承しようとする態度を育成する。 ○「子どものための優れた舞台芸術体験事業」(文化庁)より、プロの演劇集団「劇団道化」を島外から招き、演劇について詳しく学ぶ。2H×3 ○第3学年の総合学習の時間(10H)で「郷土を伝える」で作成した郷土劇の脚本をもとに、文化祭を通して、発信することを目的として活動を行う。また、学習発表会(文化祭)で披露する。					20
			合計				75 時間